総社市新生活交通

雪舟くん

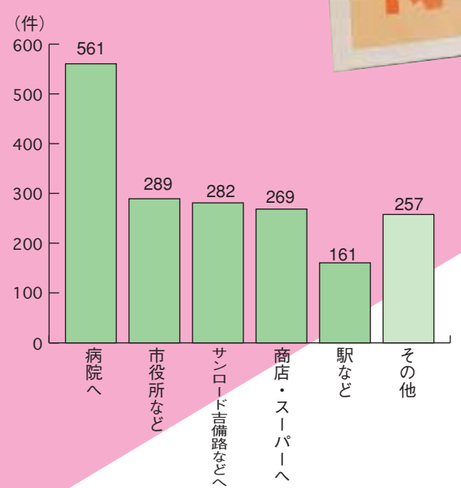
1乗車300円

みんなで乗ろう！

買い物や通院などで利用を

■待合所　4か所設置

利用実績も多かったサンロード吉備路、天満屋ハピータウンリブ総社店、総社駅、市役所の4か所は、乗り換え場所としても利用されることから、待合所を設けます。市役所の待合所は、玄関を入った右側に設けています。右の写真の看板が目印です。



■試行運行の利用は、病院へがトップ

試行運行期間中、2944人が乗り降りしました。上のグラフは利用者の目的地とされる降車場所の施設別の利用者数です。病院への利用がトップで、以下、買い物、レジャー・食事などでの利用と考えられるものが続きます。グラフの利用者数の合計は1819人で、残りの1125人の利用は帰宅のためで、降車場所は自宅です。反対に、乗車場所は、自宅と外出先がほぼ半々になっています。

通勤で使う人へ！

通勤などで「雪舟くん」を毎日、同じ時間帯で利用する人の予約が、5月1日から簡単になります。

毎週月曜日に電話予約をすれば、電話を掛けた日の翌週の月曜日から金曜日までをまとめて、予約の申し込みができます。

これ以外の人の予約受付は今までどおり、利用予定日の1週間前からです。

■雪舟くんの利用

本格運行が開始されて以降、雪舟くんを利用する皆さん

▲天満屋ハピータウンリブ総社店で雪舟くんに乗り込む人。利用者の一人は、「一人暮らしなので買い物などで助かる」と。

▲4月1日から「雪舟くん・倉敷中央病院往復便」もスタート。利用した松森利春さん（新本）は、「通院で使えると聞き、1回乗ってみようと思い、雪舟くんから乗り継ぎました」と教えてくれました。

▲9時台の雪舟くんで天満屋ハピータウンリブ総社店まで来た横井清さんと泰子さん夫妻（影）。歩いて郵便局や図書館、市役所を回って用事を済ませ、市役所から雪舟くんに乗って帰宅。「家のそばで乗れ、便利で助かります。快適ですよ」と、2人は話してくれました。

予約型で乗り合い方式のみんなの乗り物「雪舟くん」が、4月1日から本格運行を開始しました。

予約型で乗り合い方式のみんなの乗り物「雪舟くん」の本格運行が、4月1日から始まり、買い物や通院などで多くの人が利用しています。

本格運行を記念し4月4日、市役所で運行開始セレモニーを行いました。運行委託事業者をはじめ、この制度を協議した公共交通会議、運輸行政機関、市の関係者ら約100人が出席。市長はあいさつで、「福祉の向上のため、成功に向け不退転の覚悟で取り組む」と力を込めました。

雪舟くんは、戸口から戸口までを送迎する市民の身近な交通手段として整備されました。5人ないし8人を定員とするワンボックスカー9台を使用し、利用予約に対応します。

1乗車1人300円。電話予約することで、平日の午前8時台から午後4時台まで利用できます。利用の電話予約は、平日の午前7時30分から午後5時までに雪舟くん予約センター（☎92－1111）へ。

本格運行に先立ち、3月7日から同31日まで運賃無料の試行運行を実施。期間中2944人が利用し、多い日には270人を超えました。1日平均では164人。目的地別に見ると、サンロード吉備路や天満屋ハピータウンリブ総社店への利用が多く、総社駅や市役所がそれに続きます。また、利用件数の4分の1は病院への利用でした。

市では、利用データを有効に活用し、予約の受け付けや配車などに改良や改善を重ねながら、利便性の高い乗り物にしていきます。皆さん、雪舟くんに慣れ親しみ、どんどん利用してください。

問い合わせ　人権・まちづくり課安全・安心係（☎92―8249）

戸口から戸口を結ぶ

雪舟くんの利用予約は　→　☎92－1111

受付時間　7：30～17：00